

CONTACT INFORMATION

問合せ先

保健師に関する問合せ先

横浜市健康福祉局
地域福祉保健部福祉保健課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL.045-671-4069 FAX.045-664-3622

採用に関する問合せ先

横浜市人事委員会事務局
調査任用部任用課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL.045-671-3347 FAX.045-641-2757

横浜市 保健師 紹介

CITY OF YOKOHAMA
PUBLIC HEALTH NURSE PAMPHLET

信

変わる時代に、
進む力を。

頼

の

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



【横浜市職員採用案内ホームページ】

横浜市 採用

検索



【横浜市人事委員会事務局 公式X】

X @yokohama_ninyo



【横浜市職員採用広報 公式Instagram】

📷 yokohama_recruit





© Yokohama City Visitors Bureau

横浜市の 保健師を目指す 皆さんへ

横浜市は、370万人を超える市民の皆様が暮らす、日本最大の基礎自治体です。歴史があり、18の行政区は、海、港、緑など自然豊かで、風情のある建築物が多いなどそれぞれの地域特性があります。

「市町村保健センター」と「保健所」の機能を併せ持つ政令指定都市・横浜市での保健師活動は、市民の皆様にもっと近い地域で健康をまもる仕事から、「横浜市子ども・子育て支援事業計画」「健康横浜21」や「よこはまポジティブエイジング計画」など、横浜市全体の政策の策定まで、大変幅広く、多岐にわたります。

今、大都市・横浜は、人口減少・超高齢社会を迎え、社会的孤立やダブルケア、8050問題、虐待、健康格差など、複合化・複雑化した生活課題が顕在化し、求められるニーズも一層多様化しています。

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域社会を実現していく横浜市の保健師としての仕事は、やりがいにあふれています。公衆衛生看護の中で横浜市の保健師は、災害や感染症等の様々な健康危機の発生に備えていき、「すべての人々のくらしと地域社会の健康、生命をまもる使命と倫理」の基本姿勢をもって取り組んでいます。ぜひ御一緒に、健康で活力あふれる横浜市を創り上げていきましょう。

CONTENTS

- 03 横浜市保健師のめざす姿
横浜市保健師の特色
- 04 主な配属先と仕事
- 05 人材育成のしくみ
- 06 保健師業務の実際
先輩からのメッセージ
- 07 専門職としてのキャリア形成

当パンフレットに掲載されている内容は、令和6年12月末時点のものです。

PHILOSOPHY 横浜市保健師のめざす姿

横浜市の求められる職員像は、「ヨコハマを愛し、市民に信頼され、自ら考え行動する職員」です。

加えて、横浜市保健師に求められる職員像を「理念」として位置づけ、そのめざす姿を明確にしています。

そして、横浜市保健師として大切にしたい言葉として、「信頼」を掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

横浜市保健師の理念

健康と生命を守る視点で病気のケアから発生予防まで取り組み、健康な地域社会の実現と市民の健康・福祉の向上に取り組めます。

信頼

私たちは、市民からも組織からも信頼される保健師を目指します。

FEATURES 横浜市保健師の特色

政令指定都市ならではの 保健活動

一つの基礎自治体で、母子や高齢者保健などを担う「市町村保健センター」と、感染症対応や障害者支援、難病患者支援などを担う「保健所」の機能があり、多様な経験ができます。健康格差、孤立や虐待など大都市ならではの課題にも他職種や関係機関と連携し、取り組んでいます。

約600人の 保健師

職員、キャリアを積んだ専任職、係長、課長、部長など、約600人の保健師が様々な部署で活躍しています。同期の仲間や男性の保健師も多く、経験を分かち合うことができます。子育てや介護などのライフイベントでは、制度を利用しながら仲間と助け合い、働ける環境です。

地域特性に応じた 保健活動

業務分担制と地区分担制を併用し、地域特性に応じた保健活動をしています。『個性ある区づくり推進費』という横浜市独自の予算を活用し、地域のニーズに応じた特色のある取組を事業化、展開しています。また、保健師の分野横断的な連携の場として「看護職会議」を開催し、部門を越えて課題を共有し検討等しています。

感染症対策

感染症の蔓延を防ぐため、平時から研修や個人防護具の着脱訓練等を行い、健康危機管理対策を行っています。



災害時保健活動

災害時、「保健活動グループ」として、所属を超えて活動を行います。他自治体保健師と協力し、被災地での保健活動を支援します。



主な配属先と仕事

配属先は、地域の特性を活かした取組を行う「区役所」と市全体の政策や計画の策定・実施を行う「市役所」があり、個別支援から政策に関わる仕事など幅広い経験ができます。

また、児童相談所やこころの健康相談センター等への配属もあり、専門機関で保健活動ができます。

人事異動を通じて、様々な職場での経験を深めることができます。

暮らしに密着

『区役所(福祉保健センター)』



福祉保健課

事業企画担当：地域団体や住民との協働による地域福祉保健計画の推進や総合的な福祉保健施策の企画立案を行います。

健康づくり係：身近な地域での健康づくり活動の推進に加え、感染症対応などの健康危機管理も担います。

高齢・障害支援課

高齢者・障害者・難病患者への支援、介護や認知症の予防、虐待防止、地域包括ケアの推進等の取組を行っています。

こども家庭支援課

地域の子育て家庭を対象とした乳幼児健診や家庭訪問等の母子保健事業、子育て支援事業、虐待防止等の取組を行っています。

市全体の
企画調整や政策立案
『市役所』



健康福祉局

健康づくり、高齢者や障害者の保健・福祉、地域福祉保健計画等の計画策定、災害時保健活動等の取組を行っています。

こども青少年局

安心して子どもを産み、健やかに子どもが育まれる地域社会を目指し、政策の立案や地域資源の創出を行っています。

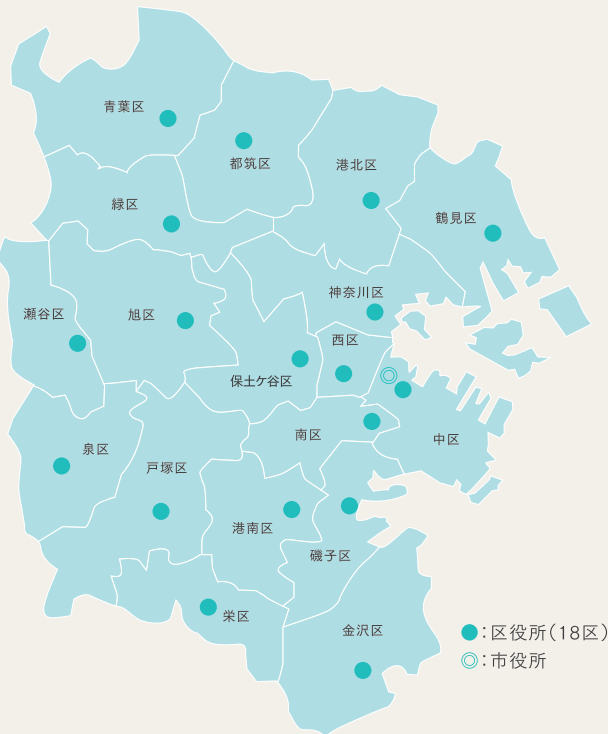
医療局

地域医療提供体制の構築やがん対策の他、保健所として市全体の感染症等の健康危機管理を担っています。

総務局・消防局・水道局・交通局等

産業保健の観点から、職員の健康づくり・疾病予防等を行っています。

専門機関（児童相談所・こころの健康相談センター等）
専門機関として、子どもや養育者に関する様々な相談やこころの健康、依存症等の当事者・家族への支援を行っています。



人材育成のしくみ

安心して働き、成長できるたくさんのチャンス

採用後はトレーナー(新人育成を担当する先輩職員)を中心に職場内でサポートする体制があり、仕事の進め方や疑問・悩みを相談しながら業務を実施していくことができます。

幅広い分野を経験した後は、責任職(管理職)として政策をつくりマネジメントを担う道や、専門性を極め、専任職(スペシャリスト)として進む道など、複数の昇任システムがあり、力を発揮するチャンスが広がっています。

能力向上のための研修体系

01 行政職員として

公務員としての自覚を持ち、職位に応じた役割が果たせるように、基礎知識の習得やスキルアップに向けた様々な研修を行っています。

02 専門職として

現場におけるOJT(On the Job Training)を基本としながら、経験年数に応じて様々な階層別の研修を行っています。

OJTと研修を組み合わせ、日常業務の課題への取組方法を研修の中で学び、職場に戻って実践するという積み重ねの中で、専門職としての知識・技術が磨かれていきます。

03 能力開発のために

横浜市では保健師として身に付けて欲しい能力の指標「キャリアアラダー」を定めています。キャリアアラダーを活用することにより、自分の専門能力の獲得状況が分かるとともに、次のステップへの目標設定に役立ちます。

その他、国の研修機関等への派遣研修、市独自の研究発表会、大学院進学支援など、能力開発のためのメニューや制度を用意しています。



TRAINING
研修体系イメージ

入庁					職員Ⅰ		職員Ⅱ		職員Ⅲ		
行政職員	新採用職員研修		採用2年目職員研修		職員Ⅱ昇任者研修		職員Ⅲ昇任者研修		等		
	ベーシック・カレッジ				ステップアップ・カレッジ						
専門職	階層別研修										
	業務所管課研修(制度・スキル・知識など)										
	国立保健医療科学院などへの派遣研修										
各職場におけるOJT											
● 日常業務を通して ● 後輩指導を通して ● 事例検討会や各種会議を通して											

階層別研修		
経験年数に応じて、専門職として基礎となる知識・技術を段階的に学ぶとともに、行政専門職として欠かすことのできない視点を学びます。		
階層	内容	保健師マインド
1年目	個別・家族アセスメント・生活を見る視点	
2年目	集団支援、地区活動	
3年目	地域看護診断（地区カルテ活用） 地域ケアシステム	
5年目	保健事業の評価	
10年目	保健事業を施策につなげる視点	
職員Ⅲ	職Ⅲの保健師の役割理解、福祉保健を取り巻く状況、後輩育成	

WORK CONTENTS

保健師業務の実際

泉区子ども家庭支援課（2021年度入庁）

DAILY PLANNER 一日のスケジュール

8:30 〔朝のミーティング〕

連絡事項や1日のスケジュールを共有、ミニ研修

9:00 〔会議〕

責任職や多職種での支援方針の検討・振り返り

10:00 〔新生児訪問〕

赤ちゃんの成長・発達の確認、子育ての助言
帰庁後、記録の作成

11:50 〔昼休み〕

午後の業務に応じて早めの休憩

12:50 〔乳幼児健康診査〕

子どもの成長・発達の確認、保護者からの相談対応、利用できる社会資源の紹介

16:00 〔窓口対応〕

妊婦や保護者からの相談対応、母子健康手帳交付

17:15 〔退勤〕

退勤後は友人と食事をしたり、好きなテレビを観たり、楽しく過ごしています。



WHAT WE DO

現在の担当業務

子どもの成長・発達に関する個別支援や、乳幼児健診や健康教育等の集団支援を行っています。また、地域の方々と一緒に、子育てに優しいまちづくりにも取り組んでいます。月に一度の集団支援の地域場で、「ここに来れば必ず保健師に会えるから安心できる」とのお声をいただき嬉しかったのを覚えています。

REAL TALK

横浜市保健師として働く魅力

横浜市は政令指定都市であり、より幅広い分野で経験を積めることに魅力を感じています。業務の中で悩むことは多いですが、周囲の先輩方や上司に相談すると、一緒に考えてくださり新たな気付きや学びがたくさんあります。これからもそれぞれの分野で活躍する先輩方に出会い、多くの学びを得られることが楽しみです。また、保健師として学べる制度も充実しています。

CAREER PLANS

専門職としてのキャリア形成

分野を超えた保健師のスペシャリスト

職場の仲間と専門能力を高めていきたいと思い「専任職」を目指しました。保健師の視点を育てるために、現在は同じ区役所の保健師と定例会を開催し、横のつながりを意識した取組や災害時保健活動等のテーマについて、スキルアップを図っています。



南区福祉保健課専任職
(1995年度入庁)

周囲の支えや 働き方の工夫でキャリアアップ

昇任してからの出産・子育てでしたが、大変な時期も周囲の方の支えや働き方の工夫で楽しみながら続けてこれました。テレワークやフレックスも活用し、限られた時間の中で皆と協力しながら業務を進めています。



中区福祉保健課
健康づくり係長
(2005年度入庁)

MESSAGE

先輩からのメッセージ



栄区子ども家庭支援課
(2021年度入庁)



厚生労働省派遣（横浜市健康福祉局
医療援助課）
(2017年度入庁)



保土ヶ谷区高齢・障害支援課
(2012年度入庁)

未来に 種をまく仕事

家庭訪問等子育て家庭への個別支援や、育児教室や乳幼児健診などの運営・実施だけでなく、子どもや家族を取り巻く状況を俯瞰的に捉え、よりよくする取組を企画・実施できることにやりがいを感じます。子どもが自分を大切に幸せな将来になるよう、種まきをしたいと思います。

先駆的な施策や取組、 多様な経験

横浜市は、日々の業務から先駆的な施策や取組に繋がることも多く、保健師としても様々な経験を積むことができます。また、人材育成体制が充実していることはもちろん、多様な経験を持った職員の方も多いため、他職種の方からの刺激や学びを受けられることも魅力の一つです。

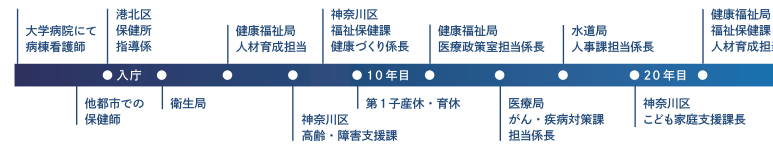
住民一人ひとりの 価値観や思いを尊重

対象者の価値観や思いを尊重しつつ、その方の権利が守られ、安全な生活を送ることができるよう、心がけながら支援に取り組んでいます。職場には保健師以外にも多種多様な職種が在籍。それぞれの専門的な視点から助言を受けることができ、新たな気付きを得られる機会が多くあります。



職員一人ひとりが強みを生かす組織

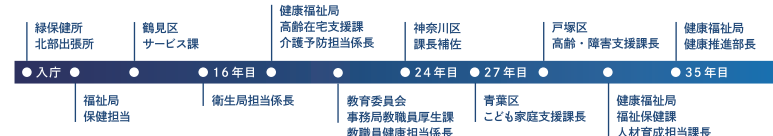
民間経験を含めて様々な部署で経験を重ねてきました。一見保健師業務ではないかと思う業務でも、取り組んでいくと必ず公衆衛生看護活動とつながり、より視野を広げることができます。そして、行政職は保健師だけでなく、社会福祉職などの専門職、事務職の仲間が多く、チームで仕事をする場面があります。その中で、お互いの持ち味を生かしながら政策を推進しているところが横浜市で働く魅力の一つです。



健康福祉局福祉保健課
人材育成担当課長
(2001年度入庁)

様々な業務、多くの人との出会いで成長

地域に密着した保健活動や市の政策に関わる仕事など、様々な業務を経験し、多くの人に出会い、自身の成長を実感しています。チームリーダーである責任職は大変なこともありますが、それ以上にチームで目標を達成した時の喜びは大きいです。横浜市が大好きな職員、そして市民が多いことが、横浜市全体のパワーの元となっており、仕事のやりがいやモチベーションのアップ、さらに日々楽しく過ごすことにつながっています。



健康福祉局
健康推進部長
(1989年度入庁)